

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティオブライフ土浦第1教室		
○保護者評価実施期間	8年 2月 1日		8年 2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	8年 2月 9日		8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容においてカリキュラムや報告の仕方について信頼を得られている。	月1回の支援内容ミーティングや全体でのミーティングを行い内容を検討している。学年にあったものを提供できるようにしている。	1つの教室だけでなく、2教室や全教室合同でのイベントも行いながら役割を持ったチャレンジを続けていきたい。
2	個人情報の取り扱いの徹底	個人の情報や特性に関しては、個々の背景を見ながら支援を行うようにしており知り得た情報は連携に使用する以外の目的使用しないことを伝えている。	外部に漏れないように職員でも新しい職員を迎えるたびに説明していく必要がある。
3	保護者同士が関われる場の提供や研修等の場が増えてきている。	イベントやフェスなどの開催によりダンス発表の場も増えており地域に開かれた事業運営になってきている。	年間行事にしながら、地域でも行えることを増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への周知に関して職員はできていると感じているができていない部分が多い。	やっているつもりになっていることが多いのかもしれない。	1つずつ丁寧に周知を行い「わからない」保護者の方がないように伝え方や周知の方法を考えていく必要がある。
2	教室内での設備等、環境上の配慮が適切に行われていない。	クールダウンの部屋の奥が、物置になっており整理整頓をしてもスペースの確保が難しくなっている。	明確な空間分けが必要であり、必要に応じて物置を別の場所にしながらクールダウンするスペースを増やしていく。
3	面談や必要な助言と支援を行っていない。	送迎を含めて、変更事項などを間違えてしまうこともあり職員同士の共有不足が出ることもあり家族への周知がされていない。	安全面では、連絡ツールを使いながら変更事項などを伝えられるようにする。